

地域課題

事業主体：小笠原村

小笠原村は日本で唯一気象レーダーが及ばない地域であるためゲリラ豪雨をはじめ降水の捕捉率が低い

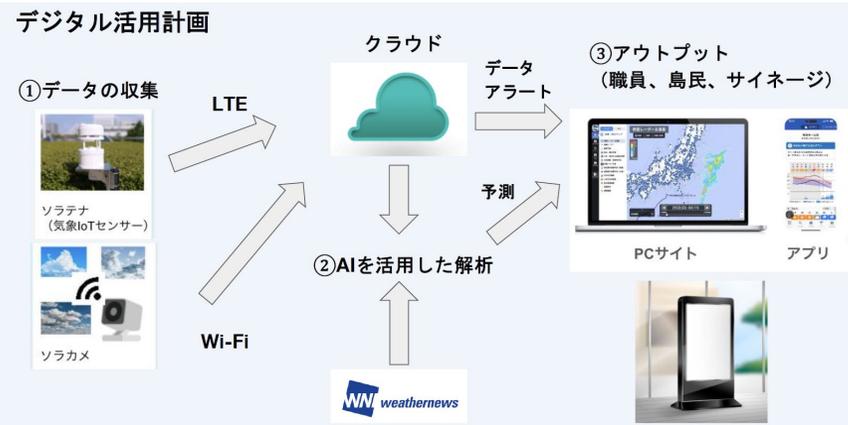
【推進体制】
<構成メンバー>

産：(株)ウェザーニューズ
官：小笠原村、東京都小笠原支庁

目的・概要

気象IoTセンサーやライブカメラから取得した情報を、AIを活用した気象予測モデルに反映し、小笠原村の気象予測の精度向上を図る。

取組



- ① 島内複数地点に、ソラテナ（IoTセンサー）とソラカム（AIカメラ）を設置し気象データを収集
- ② 気象データをAIに学習させることで気象予測の精度を向上
- ③ 島民や土地勘のない観光客などへの効果的な気象情報の発信

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実施方針	インフラ整備	インフラ追加の検討とモデル構築・検証	モデル構築・検証
気象データ収集	観測器設置	観測器追加設置	気象観測
AIによる気象データ解析		小笠原AIモデルの検討 小笠原AIモデルの運用	
情報発信		特設サイト等作成 特設サイト等による情報発信	雨雲レーダー
その他	島民アンケート調査		結果取りまとめ

島民や観光客の安全・安心を確保することを目指す